

“きままに”川柳

今月のお題　涙

出の悪い　だ液より出る　涙かな
小椋走歩

孫すだつ　笑いと涙　交差する
ラン

ばあちゃんも　君の失恋　涙する
土岐おりひめ

嘘泣きに　磨きをかける　子ども達
ほっこりさん

孫なみだ　またおいでよと　送る爺
髙野まき

新幹線　遠退く孫に　涙する
服部ハツ義

涙した　車椅子、今　命づな
加藤正光

涙目の　マスクの中は　生あくび
月丘夢子

気ままに川柳は今回で終了します。ありがとうございました。

わたしのほやねさん



「ほやねさん」とは…
つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

通勤途中・・・いつもの時間、いつもの所で、デコボコ３人組の中学生に出会います。
“今日も３人、笑ってる。”“アレ、今日は２人。あと１人は？遅れた？それとも体調が悪い？”・・・私の勝手な妄想が始まります。そんな３人の登校風景は、私の心をいつもほっかほかにしてくれます。私のまちのほやねさん！
もうすぐ春です。デコボコ３人組に会えるのも、あと少しなのかな。笑顔が素敵な中学生。いつも一緒の３人がそれぞれの道に進んで、２人になり、１人になっても、いつまでも変わらぬ友情と生命を大切に、心豊かに成長してね、と思います。
通勤・家族の送迎など、１分１秒を競って走るラッシュの朝に、あと５分早く家を出てみませんか。あなたの心を癒してくれる人や出来事にきっと出会えると思いますよ。



ペンネーム
ババババァちゃん（駄知町）

わたしのほやねさんは、5月から奇数月に掲載します。

募集





掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

■応募方法
住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。
〒509-5192（住所不要）　machisui@city.toki.lg.jp
☎（内線312）／FAX㊺7763